



1年学年だより 第32号

☆ 喫煙防止教育 & 福祉体験学習 ☆

今週は11日に「喫煙防止教育」、12日に「福祉体験学習」がありました。

喫煙防止教育では、タバコにどれだけの「害」があるかということ学びました。その中でも、「ニコチン」「タール」「一酸化炭素」の3つは代表的な害であることもわかりました。肺の写真(タバコを吸う人の肺と、吸わない人の肺)を見て、どれだけ健康を害するかが理解できたと思います。また自分の健康をそこなうだけでなく、他人の健康にも害を及ぼしてしまうという、副流煙による受動喫煙が発生することもわかりました。今回、お話いただいたことを、絶対に忘れないでください。

昨日の福祉体験学習では、班に分かれて「アイマスク」「車いす」「インスタントシニア」を体験しました。それぞれの体験から、様々な学びがあったことと思います。目や脚の不自由さ、「付き添い」としての大変さについて理解できたでしょうか。「～があるから気を付けて」「～先に段差があるからゆっくり歩いて」など、アシストするのとても大変だったと思います。今後の生活の中で、交通機関を利用するとき、点字ブロックの上に物が置いてあるときなど、様々な場面で、様々な人と出会うと思います。そのとき、みなさんはどう行動しますか。

もし、そんな場面に遭遇したら、今回の経験をぜひ生かしてください。学びを行動に！



